

練習の成果を発揮し入賞

～ 第53回「金栗杯」勿来の関マラソン ～



▲入賞を果たした本宮市駅伝チームの皆さん

3月7日に、クレハ総合グラウンド陸上競技場(いわき市)で第53回「金栗杯」勿来の関マラソンが開催されました。

大会ではクレハ総合グラウンド陸上競技場をスタート・ゴールとし、15km、10km、5kmの3種目を開催しました。

当日は小雨が降り、気温も低く、コンディションはあまり良くない状態でした。

本宮市駅伝チームとして参加した選手は、全体的に記録が伸びており、この冬に走りこんだ成果が、着実に身につけてきている結果となりました。

【本宮市駅伝チーム入賞者成績】

39歳以下女子の部	優勝	菅野 勝子
中学男子の部	3位	村上 秀
中学女子の部	6位	長井 彩香

意見交換会を行いました

～ 相模女子大学・本宮市交流レセプション ～



▲福島県副知事と意見交換する相模女子大学生

3月12日に、えぼかで相模女子大学・本宮市交流レセプションが開催されました。

2月1日から3月26日にかけて、本宮市で神奈川県相模女子大学生67人が、それぞれ4泊から10泊にわたり農家民泊をしながら、農作業体験をはじめ、商店街や企業での協働活動を実施しました。

学生たちは出席した佐藤市長や内堀福島県副知事らと意見交換をしながらの昼食会に参加し、本宮産の食材をふんだんに使った料理に舌鼓を打っていました。

また、学生たちは昼食会の後、しらす有寿園を訪問し、熱心に楽しく体験学習を行いました。

かわいい園舎ができました

～ 岩根幼稚園園舎増築工事完了 ～



▲新しく増築された園舎

国の緊急経済対策交付金を活用した、岩根幼稚園の園舎の増築工事が2月11日に完了しました。岩根幼稚園は岩根小学校同様、みずきが丘団地への入居者の増加に伴い、入園児数も年々増加しており、現在の2クラスから4クラス編成での保育とするため、園庭の西側に保育室2部屋とトイレ、玄関(渡り廊下)と水飲み場を備えた園舎を増築しました。園舎は4月1日に使用を開始しました。

相互発展に向けた更なる協力へ

～ 福島大学との相互友好協力協定締結 ～



▲市長と協定書を取り交わす今野順夫学長(左)

3月1日に、「福島大学と本宮市の相互友好協力協定書調印式」が、市役所で行われました。この協定は、地域産業、文化、環境、福祉、教育、まちづくりなどの様々な分野で福島大学と援助、協力を図ることで、相互に発展することを目的としています。昨年12月に、福島大学と市の共催により「本宮市地域活性化フォーラム」が開催されるなど、これまでも多くの事業で協力を図ってきましたが、今後はこれまで以上に協力関係を強化し、相互の発展に資する取組みを進めていきます。

ご長寿おめでとうございます

～ 菊地ミユキさんが百歳を迎える ～



▲副市長から祝状を受け取る菊地さん

2月25日に、菊地ミユキさん(松沢字糺屋)が百歳を迎えられました。賀寿のお祝いは菊地さんの自宅で行われ、中野副市長はじめ多くの皆さんから、祝状や祝金、花束などが贈られました。菊地さんは「ありがとうございます」と元気にお礼のあいさつを述べられました。長寿の秘訣は「粗食」だそうです。これからも一層元気に長生きしてください。

東北大会で優勝

～ 本宮ハンドボールドスポーツ少年団 ～



▲教育長に大会出場の報告に訪れました

本宮ハンドボールドスポーツ少年団は、2月20日と21日に山形県東根市で行われた第4回東北プロック小学生ハンドボール交流大会で、持ち前の明るさとチームワークで勝ち進み、男子の部優勝、女子の部では第5位入賞を果たしました。同スポ少代表が、2月23日に市役所を訪れ、教育長に大会出場の報告をしました。昨年の大会では、男子が第4位入賞、女子の部は優勝を果たしており、本宮市のハンドボールのレベルの高さを示しました。

シリーズ

「未来に輝くまちづくり」(21)

本宮市長 佐藤嘉重



市制施行から4年目を迎え、平成22年度がスタートしました。

今年度は、昨年から掲げております3つの重点事業「①市民の健康づくりと子育て支援事業の充実」、「②農業を基本とした産業の振興」、「③本宮駅乗降客の1日5千人突破を目標とした賑わいづくり」を基本として、さらに取り組みを強化し、「活力ある地域の創造」を進めてまいります。

また、市政の運営にあたりましては、新たに2つのテーマを設けたいと考えています。

一つ目は、「子どもが変われれば世の中が変わる」です。子どもが変われれば大人も変わります。大人が変われば地域が変わり、世の中が変わります。次代の主役となる子ども達が、心豊かに逞しく成長できるように、各種事業を実施していく予定です。

一つ目は、「経済と文化の融合したまちづくり」です。昨今の社会経済情勢は、先の見えない混沌とした状況が続いています。しかし、世の中がどんなに変

20年先、30年先の本市の将来像を描きながら、信念を持ってまちづくりを進めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。